

第17回 子どもに関する政策討論会議（議事概要）

日 時：令和6年3月18日（月）14:00～14:08

場 所：議事堂5階 504 議会運営委員会室

出席者：子どもに関する政策討論会議 委員12人
議会事務局 小西企画法務課長 ほか

資 料：事項書

資料1 子どもに関する政策討論会議提言書（案）

中森座長

ただいまから、第17回子どもに関する政策討論会議を開会いたします。

先ほどは全員協議会への出席、お疲れ様でした。

本日は、先ほどの全員協議会での結果を踏まえて、提言書案についての委員間討議を行い、提言書を確定させたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、提言書案について委員間討議に入ります。

先ほどの全員協議会において、提言書案に対し、政策討論会議において、どういった有識者から、どういった内容について意見聴取したのか、記述してはどうかという意見がありました。

この意見を受けて、正副座長において修正案を作成しましたので、事務局に配付させます。

資料よろしいですね。

それでは、ただいま配布した資料について、事務局に説明させます。

小西企画法務課長

それでは、ただいまお配りさせていただきました資料を御覧ください。

こちらの提言書の19ページ以降について修正をさせていただこうとするものでございます。この19ページから政策討論会議におけます検討経緯を整理した表がございました。ここにつきまして、更に丁寧に書き込ませていただこうと思ひます。

20ページをお願いいたします。一番上の第3回のところでございますが、執行部からの聴き取りにつきましても、対象部局を子ども・福祉部や教育委員会事務局、医療福祉部等、記載をさせていただきました。

また、御指摘いただきました有識者の意見聴取につきまして、その下、第4回の欄で有識者といたしまして、国立研究開発法人 山口先生から「子どものウェルビーイングのための必要な施策とは」。また、こども家庭庁 胡内様から「子どもの貧困対策について」ということで記載をさせていただきました。さらにその下、第5回につきまして、こちらも意見聴取でございますが、東京都立大学 阿部先生の方から「子どもの貧困、現状の課題、新型コロナウイルス感染症の拡大、子どもへの影響について」ということで記載をさせていただきました。

さらにその2つ下でございますが、県内調査につきましても行っていただきました11月2日、桑名市のNPO法人太陽の家でありますとか、四日市市立西笹川中学校等の記載をさせていただきました。

それから、21 ページでございます。上から3つ目につきましても県内調査ということで11月29日、伊勢市や伊勢市社会福祉協議会、それから第10回につきまして、執行部からの聴き取りということで、子ども・福祉部、教育委員会、それからその下、第11回ということで慶應義塾大学 中室先生から「教育経済学の最前線について」ということで、こちらの方に詳しく記載をさせていただいたところでございます。説明は以上でございます。

中森座長

ありがとうございます。

それでは、ただいま修正案について、御意見のある方はお願いします。

今井委員

載せることは全然いいと思うんですけど、今後、政策討論会議等が開かれた場合に、こういう提言書を作るときにはこういうスタイルでいくという1つの例になるのかなと思いますので、その辺また正副座長の方で、代表者会議の方でも報告いただいた方がいいんじゃないかな。

この政策討論会が参考人書いて、これは書かないとかそういうことではないのかなと思いますので、よろしくお願いします。

中森座長

という御意見をいただきましたが、他にございますか、御意見よろしいですか。

(発言する者なし)

ということであれば、修正をするということで御異議ございませんか。

(発言する者なし)

それでは、先ほど配付した資料のとおり、提言書案を修正した上で提言を確定させるとともに、さらに必要な文言の整理については、正副座長に御一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、そのようにいたします。

なお、知事に提言することについては、後日、代表者会議において、私からお諮りさせていただくとともに、知事への提言については、正副座長において対応させていただきますので、御承知おきください。

また、確定した提言書については後日、各委員に配付させていただきます。

本日、御協議いただく事項は以上となりますが、他に何かございますか。

(「なし」の声あり)

ないようでございます。

これで本政策討論会議での調査等については、本日の会議をもって終了することといたしたいと思います。

私の方から一言。17回ですかね。もう何回も、回数もわからないくらい対応していただきまして、正副座長が議長、副議長という立場もございまして、皆様方には大変制約の中、日程の調整に御協力いただきましたことをまず御礼申し上げたいと思います。本当に立派な提言書案ができただろうと自負するとともに、皆様方の御協力に敬意と感謝を申し上げたいと思います。

この上は、しっかりと知事に対しまして提言をした上で、実際施策として、また場合によっては予算として反映できるように、我々今後とも皆様の御理解をいただきながら、執行部の方に進めてまいりたいと。

また、議員におかれましても、それぞれの会派におきまして周知をしていただいて、我が三重県議会としての提言が今後進められます子ども条例であったり、子どもに関する施策が打ち出されたときに、しっかりと情報共有していただきながら、力を合わせて三重県議会として、子どもに対する政策を推進していただきますようお願い申し上げて、この会での終了の御挨拶といたします。誠にありがとうございました。

杉本副座長

本当にありがとうございました。

子どもに絞ってのこういう会議って初めてでしたので、本当にいろいろ勉強をさせていただきました。いよいよ先ほど議長も申し上げたとおり、来年が子ども条例の改正、それから国の流れを受けて、子ども計画も来年がその年に当たりますので、私も皆さんとともに、来年度からまたこの提言書を基に取り組んでまいりたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

中森座長

以上で第17回子どもに関する政策討論会議を閉会いたします。

委員の方は御協議願うことがありますので、そのままお待ち願います。

(以上)